

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立富士湧水の里水族館

所管課 農政部 食糧花き水産課

指定管理者 株式会社桔梗屋

1 指定管理者の推移

導入年度	平成21年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
株式会社 桔梗屋		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	151,483,000
株式会社 桔梗屋		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	155,796,000
株式会社 桔梗屋		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	152,095,116
株式会社 桔梗屋		R5.4.1	～	R9.3.31	4年	160,076,000

2 施設の概要

所在地	南都留郡忍野村忍草3098-1
設置年月日	平成13年4月25日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立富士湧水の里水族館設置及び管理条例
設置目的	県民に魚とのふれあいの場を提供することにより、自然保護に対する理解を深め、併せて内水面漁業の振興に資する。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)水産動植物の飼養栽培及び展示に関する業務 (4)水産動植物に関する講習会及び催しの実施に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 4,000 m ² ○建築面積 1,027.02 m ² ○建物延面積 1,474.41 m ² ○建物の構造 ・鉄筋コンクリート造(地下1階、地上2階建て、機械棟1棟) ○施設の内容 ・1階:展示フロア(二重回遊水槽等) 562.29 m ² ・2階:学習フロア(シアターホール等) 736.62 m ² 事務室、機械室、倉庫、東屋等 457.05 m ²
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	77,584,805	80,509,139	87,553,161	105,707,211	102,143,715	
支出合計	75,751,204	79,298,830	87,157,427	105,547,494	103,423,564	
収支差額	1,833,601	1,210,309	395,734	159,717	△ 1,279,849	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	137,200人	111,036人	126,643人	180,912人	175,650人	入館者、事業参加者の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和5年度の利用者数は、175,650人で、目標値とした175,200人に対して450人上回る結果となった。これはコロナ禍からの回復も一段落つき、旅行先が海外など多岐にわたるようになってきたが、コロナ禍後半から令和5年度にかけて来館された利用者からの口コミによる新規利用者も増加しており、当館の魅力が今まで以上に広く浸透してきたことで目標値を達成することが出来たと考えられる。個人利用の外国人観光客もコロナ禍前より増加してきており、今後はインバウンド対策を行っていくことも利用者数増加のための重要な要素の1つであると考ええる。

また、令和5年度は既存展示「おいしい水族館」の一部をリニューアルし、寿司屋風の生け簀水水槽展示を作製した。この他にも水産物の流通に関する解説パネルを増設するなど、水産業に関する展示の充実化を図り、好評を得ている。その他にも既存展示のリニューアルを複数個所で行うなど館内の展示を改良し続けた結果、アンケートの満足とやや満足合わせて96.5%と引き続き高い評価を得ることが出来た。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

運營業務については、業務計画書に基づき適正に実施されていた。
施設管理については、法令に基づく点検を行い、点検結果等を県と共有し、共通理解を図ること。
設備面において、経年劣化による機器の故障などによる修繕が今後も必要になると考えられるが、修繕については県と協議を行い、優先順位を決めて計画的に実施すること。
利用者満足度については、引き続き展示やイベントの内容を工夫していくことで高い満足度を維持すること。
引き続き、ホームページ、SNS等を活用した広報を行うとともに、人件費、光熱水費、消耗品費、工具器具備品等について、飼育する生物や利用者に影響のない範囲で節約し、経費の削減を図ること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

各種支出の削減については、施設所管課からの指導どおり機材変更やこまめな消灯などの節電対応や、冷暖房の使用時間減少による光熱水費の削減などを行っている。また、消耗品関係に関しても、少しでも安価な所から購入することに加え、必要最低限の購入に留めるなどして支出削減を図った。昨今の物価上昇などの影響や、展示物増加に伴う飼育生物の増加とその維持のために職員を増員したことなどにより人件費も増加したなど、思うように削減することが出来ていない。引き続き施設のクオリティに影響が出ない範囲での支出削減を図っていく。

利用者満足度については、定期的な展示のリニューアルや新規の体験イベント開催などを行っており、リピーターが何度来館しても新鮮な気持ちで楽しめるように努めており、引き続き来館者の満足度向上を図る。

また、依然として経年劣化による施設・設備の故障が施設各所で発生しているため、引き続き早期に見つけて県と協議の上、来館者の利便性・満足度の向上に努めていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立富士湧水の里水族館

所管課 農政部 食糧花き水産課

指定管理者 株式会社桔梗屋

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	入館者数	97,771	111,036	126,643	180,912	175,650
	事業参加者数	39,429	0	0	0	0
	利用者数合計	137,200	111,036	126,643	180,912	175,650
	目標値	146,000	146,000	146,000	146,000	175,200
	実績/目標割合	94.0%	76.1%	86.7%	123.9%	100.3%
	目標値の設定方法	H26～:平成24年度実績の年度ごとに1.2%増(平成26年度からの指定管理者への応募時の目標値)ただし、前年の実績が目標値を下回った場合は、前年の目標値を継続。				
利用率	稼働率等(利用率)	432人/日	404人/日	442人/日	571人/日	554人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	入館者数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県 二重回遊水槽流水循環ポンプ(内側)・流水循環ポンプ(外側)・吹上循環ポンプ修繕	1,287,000
県 二重回遊水槽流水循環ポンプ(内側)・吹上循環ポンプ修繕 外3件	3,013,500
管 階段滑り止め再固定修繕	128,700
管 二重回遊水槽流水循環ポンプ(外側)修繕	110,000
管 シアターホール椅子破損部位修理 外4件	373,450

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
4	随意契約	売り上げの30%	354,276	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和5年4月～令和6年3月 実施方法: 入館者へのアンケート 回答数: 283人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①開館日、開園時間	83.0%	14.5%	1.8%	0.7%
②入館料	77.0%	17.0%	3.5%	2.5%
③館内の清潔さ	82.0%	13.4%	3.2%	1.4%
④設備などの充実度	77.1%	19.4%	2.1%	1.4%
⑤展示魚の数や状態	78.1%	17.3%	3.5%	1.1%
⑥シアターの満足度	65.4%	29.0%	4.2%	1.4%
⑦スタッフの態度	77.8%	19.4%	2.1%	0.7%
⑧イベント満足度	72.0%	21.6%	3.9%	2.5%
施設全般の満足度	84.8%	11.7%	1.4%	2.1%
利用者の主な意見	<p>【設備などの充実度】 ・故障中の機器を直してほしい。 ・施設全体の老朽化からくる不具合を直してほしい。</p> <p>【シアターの満足度】 ・映像を更新してほしい。</p>			
利用者の意見への対応	<p>【設備などの充実度】 ・定期的な点検や、異常が見られた所は随時、県の担当部署と協議をしつつ修繕を行っている。ただし、機器自体が老朽化しており、交換部品の調達に時間が掛かったり、調達コストの上昇が問題となっている。また、根本的に部品が製造終了してしまい、修理も出来ない機器が増えており順次更新をしていく必要がある。そのため今後の運用方法や修繕について検討していく必要がある。</p> <p>【シアターの満足度】 ・現在設備の更新も含めて、現代の機能や仕様に合わせた設備と映像の近代化を進めている。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>清掃業務、設備保守点検を計画どおりに実施した。</p> <p>保安・警備業務は隣接する「森の学習館」(忍野村の施設)と問題なく共同実施した。</p> <p>経年劣化により来館者に直接影響が出る場所や、隣接施設に影響のある設備破損などが発生してきているが、速やかに修繕もしくは対処をして利用者の利便性維持に努めた。</p>	<p>法令に基づく点検を行い、点検結果等を県と共有し、共通理解を図ること。</p> <p>施設建設から年数が経過しているため、経年劣化している箇所が多いが、適宜修繕を実施した。利用者が安全に過ごせるよう県と協議し、速やかに対応すること。</p>
運営業務	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もほぼなくなり、適正に業務を執行した。また、実施事業は概ね好評であった。</p> <p>今後もアンケートのご意見などを踏まえつつ、利用者の満足度の向上を目指して取り組んでいく。</p>	<p>業務計画に則り、適正に業務を執行した。</p> <p>引き続き、利用者の安全に配慮しつつ、満足度向上を図る取組を行っていくこと。</p>
利用状況	<p>利用者数は目標の175,200人に対し100.3%の175,650人で目標と比べて0.3%の微増となった。</p> <p>コロナ禍からの回復も一段落付き、旅行先が多様化してきたことで利用者数の増加も落ち着いてきたのではないかと考える。それでもコロナ禍直前の平成30年度よりも利用者数が約4万人多い状態を維持出来ているのは、細かなリニューアルや広報・ロコミの広がりによるものだと考える。</p> <p>引き続き、利用者の年齢層や客層に合わせた展示や、既存水槽の内容リニューアルを増やすなどして施設の充実化を図り、利用者の更なる増加に繋げていく。</p>	<p>引き続き、展示内容や企画事業を工夫するとともに、効果的なPR方法を検討すること。</p>
収支状況	<p>令和5年度の利用料金収入は、前年度よりも入館者数が約5,200人減少したことにより、利用料金収入額も令和4年度と比べて約1%減少した。</p> <p>利用者満足度向上のために、ここ数年、新展示の増加とともにそれに伴う生物管理数が増加している。それら業務増加に伴う職員の増員によって人件費が前年度比で約127%増加したことや、年度半ばほどからの物価高などにより、消耗品を必要最低限に絞り、少しでも安価な所から購入するとともに、機材変更やこまめな消灯などの節電対策を行っても大幅な経費節減とはならなかった。</p> <p>そのため、今後も施設のクオリティー向上を行いつつ、業務内容を見直して作業の効率化を図ることで、余分な消耗品の使用や電気使用量の削減を図り、少しでも支出節減となるよう努める。</p>	<p>新しい展示を作ったが、費用は抑えている。</p> <p>施設のクオリティーの向上を図るとともに、業務委託、物品購入等常時経費の節減に努めつつ、人件費等の削減により、サービスの質が低下しないようにすること。</p> <p>また、広告料については、その費用対効果を確認し、効果が低い場合は他の広報手法についての検討を行うこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

自主事業		
利用者満足度	<p>総合アンケートの結果は、満足、どちらかといえば満足が96.5%であった。</p> <p>設備の老朽化からくる不具合の早期対応や、展示生物数の増加などが利用者からの要望として寄せられているため、いただいた意見についてはできるだけ速やかに業務運営に反映し、利用者により安心して満足してもらえるような施設運営に努めていく。</p>	<p>昨年度に引き続き、アンケートの満足度は、満足、どちらかといえば満足の回答を合わせて96.5%と高い数値を維持した。</p> <p>引き続きアンケート結果を参考に、施設運営の改善に努めること。</p>

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
体験学習参加者の増加(工作教室等)	<p>施設の利用促進を図るため、工作教室等の体験学習の参加者数を評価指標とし、目標値を4,000人に設定した。</p> <p>体験教室の実施情報について、施設ホームページや広報誌等で広報し、年間参加者数は9,381人と実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>今後もホームページや広報誌等を利用して広報を行い、さらなる周知を図ること。</p>
水産動植物に関する体験学習参加者の増加(給餌体験及び職員解説)	<p>施設の利用促進及び内水面漁業の周知・啓発を図るため、水産動植物に関する体験学習の参加者数を評価指標とし、目標値を2,000人に設定した。</p> <p>体験教室の実施情報について、施設ホームページや広報誌等で広報し、年間参加者数は3,600人と実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>今後もホームページや広報誌等を利用して広報を行い、さらなる周知を図ること。</p>
学校団体の施設利用数の増加	<p>施設の利用促進及び教育機関との連携を図るため、学校団体の施設利用数を評価指標とし、目標値を75校に設定した。</p> <p>学校団体からの事前の相談に真摯に対応し、年間参加者数は83校と実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>今後も学校団体からの事前相談に真摯に対応するとともに、SNS等を活用した広報を行い、周知を図ること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

